

作曲/笛・三味線 木村 俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸30カ国以上の音楽祭に招聘出演している。  
《木村俊介 website》<http://insho.kmlw.net>

- 15年 ◆演劇倶楽部「座」公演『ひやめし物語・ちゃん』(壤晴彦演出)にて音楽を担当。  
◆坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』(大阪松竹座)に楽曲・詞を提供。
- 17年 ◆ロシア『少数民族伝統芸能祭』に出演。
- 18年 ◆多彩なゲストを迎え、音楽活動30周年記念コンサート『きせき』(さいたま芸術劇場・音楽ホール)を開催。CD『きせき』リリース。  
◆慶州『万波息笛～世界“笛”フェスティバル2018』(韓国)出演。
- 19年 ◆JAPAN HOUSE LONDON(イギリス)にて、ピアニストKit Downes氏とDUOコンサート開催。  
◆カヤグムの朴順雅氏をゲストにDUOコンサート『半夏の夢のひらく頃』開催。

### ゲスト

ヴァイオリン 西田 ひろみ

上野学園大学音楽学部卒業。  
ヴァイオリンを江藤俊哉、篠崎功子、竹内茂氏に師事。在学中、微分音グループ「シジジーズ」を結成。作曲家冷水ひとみと共にTZADIKレーベルよりCDリリース、ライブ活動、TV番組、CM等の音楽製作に携わる。スタジオワークにも多数参加。  
1995～1998年カイロに滞在し、アラブヴァイオリンをアブドダギールに師事。現地のミュージシャンとも多数共演。2013年シジジーズの新作「otona」をリリース。2015年イタリアポローニャでの「アンジェリカフェスティバル」に参加。  
現在は邦楽器との共演も多くジャンルを超えたヴァイオリン奏者として数々の国内、海外公演に参加している。

二十絃箏 稲葉 美和

4歳より生田流箏曲を学ぶ。  
CD「遠くの雨」「あおのむこう」(コントラバスとのデュオ)、「桜の咲くころに」(箏ソロ)等。  
オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、NHKスペシャル「大地の子を育てて」('05年日本賞グランプリ受賞番組)を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳やヤドランカのコンサートツアーに参加するなど、個性的で心地よい音づくりを追求しつつ活動中。  
邦楽器の為の作曲・編曲も多数。  
H.24年度宮城道雄記念コンクール作曲部門第一位。  
<http://inaba.kmlw.net/>

2020年

9月20日(日)

午後3時30分開場

午後4時開演

料金 全席自由 4,000円  
(音之文会員料金 3,500円)

※完全予約制・50名様限定  
※当日券の販売は致しません。  
※お子様の料金についてはお問い合わせ下さい。

### 予約・問合せ

《木村俊介》  
メール [insho@sky.plala.or.jp](mailto:insho@sky.plala.or.jp)  
FAX 048-833-7634 (9～19時)  
TEL 090-8346-5548

### 会場

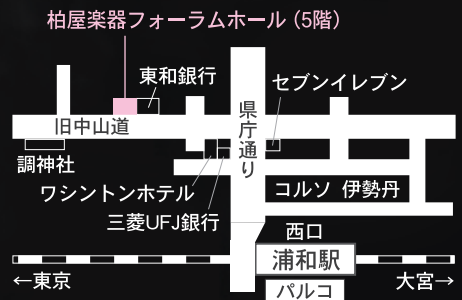
柏屋楽器フォーラムホール  
浦和区岸町7-1-9 フォーラムビル5階  
tel. 048-829-2360

## 木村俊介コンサート

# 音象

いんしょう

和・洋の楽器が紡ぎ出す、音の心象風景



JR浦和駅西口より徒歩7分  
※駐車場はありません。  
近隣コインパーキング  
をご利用ください。